



平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 東 海 運 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 壁 谷 泰 雄  
(コード番号：9380 東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 山 崎 隆 平  
経 営 企 画 部 長  
( TEL. 03-6221-2203)

### 平成 26 年 3 月期 連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 14 日に公表した平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と、本日平成 26 年 5 月 14 日公表の平成 26 年 3 月期決算短信における通期連結実績との差異につき、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 26 年 3 月期通期業績予想と実績との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,631	735	709	389	13.72
実績 (B)	40,951	929	932	432	15.23
増減額 (B-A)	320	193	222	42	
増減率 (%)	0.8	26.4	31.4	11.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	39,429	760	745	383	13.51

#### 2. 差異の理由

営業収益は、海運事業において建設発生土等の取扱量増加や外航船における仕向地増加等により増収であった一方で物流事業においてロシア・モンゴル向けの建機・プラント等の輸送が減少したこと等により概ね前回発表予想どおりの結果となりました。

また、営業利益は販売費及び一般管理費において要員計画の見直しに伴う人件費の減少等により予想を上回り、経常利益は営業利益の増加に加えて円安基調による為替差益の増加等により営業外損益が改善したことで予想を上回ることとなりました。また、当期純利益については、特別損益において関係会社出資金の評価損や保有土地の減損損失等を計上したため、経常利益の増加率を下回る結果に留まりました。

以上